

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月21日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872001284		
法人名	東成産業 株式会社		
事業所名	グループホーム いちさと筑波	ユニット名	山吹
所在地	〒300-4224 茨城県つくば市小和田145		
自己評価作成日	平成21年10月25日	評価結果 市町村受理日	平成22年4月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	まだありません
------	---------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年12月9日	評価確定日	平成22年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

穏やかに自分で出来る事は、前向きに行って頂きその人らしく生活できるよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

管理者や職員は利用者がその人らしく生活ができるよう目配りや気配りで気遣い、日々の支援に努めている。 職員は利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努め、希望にそった入浴や外出を支援している。 食材に自家菜園で収穫した野菜などを活用し、利用者が積極的に料理や配膳、後片付けなどの役割を担っている。 職員や利用者同士が温かな関係を築き、職員は感謝の言葉が聞こえる暮らしができるよう取り組んでいる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を念頭にスタッフ一同連携してケアにあたっている。	理念は事業所の開設時に作成したもので、利用者が住み慣れた地域で安心した生活が継続できるよう支援することを旨とした内容になっている。 理念を玄関に掲示するとともに、職員会議などで話し合い実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の催しに参加し、又当ホームの催しにも地域の方が参加して下さり、交流の機会が増えた。	納涼祭やどんどん焼きなどの地域の行事に、利用者は職員と一緒に参加している。 事業所で豚汁作りを行う時に、地域の人々やボランティアに参加してもらうなどで、利用者が地域の人々と交流ができるよう支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近所を散歩し、住民の方とコミュニケーションをとり、花などを頂く事もある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3か月に1回の割りあいでは区長、民生委員、市職員、家族などと一緒に話し合いをしている。そこで出た意見を参考にし、実際にサービスに組み込んでいる。	運営推進会議は市職員や民生委員、地域の代表、家族等で3ヶ月に1回開催している。 会議では事業所の運営状況や行事報告、行事予定などを話し合い、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	主に生活保護担当者とのやり取りが主であるが、推進会議を通じ、市の職員とのやりとりも増え、ホームでの疑問点や改善点などを相談し、ホームの資質向上の為、協同している。	管理者は市担当者を訪問したり電話で連絡を取り合い、事業所の運営に関する疑問やケアサービスの取り組みなどを相談し、連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中、施錠はせず、外に出たい方はさりげなくスタッフが付き添うように心掛けている。夜のみ施錠徹底している。	管理者や職員は玄関の施錠を含め身体拘束の弊害を理解しており、身体拘束をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	カンファレンスでスタッフ全員で話し合い、日々虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、権利擁護や成年後見制度を必要とする利用者はおらず、実際にサービスは利用していないが、勉強会などへ参加し、知識や情報など習得する機会をもうけている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	直接、家族や利用者本人と面談し、理解、納得を頂いた上、契約、解約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、要望が聞けるよう意見箱を設置しており、直接申し出があった場合は、即実行に移している。	玄関に意見箱を設置するとともに、利用者からは日常のふれ合いの中から、家族等からは来訪時に意見や要望を聴くように努め、出た意見や要望は運営に反映させている。	意見や苦情を出し難い家族等に配慮し、無記名のアンケートを実施するとともに、結果を家族等に報告することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のカンファレンスを開き、改善点などの意見を出し合い、改善に努めている。	管理者は毎月1回カンファレンスで職員の意見や提案を聞き、出た意見等を利用者の支援に反映させているほか、会議以外でも職員の意見はその都度聞く機会を設けている。 管理者は職員の個々の事情を組み入れ、働き易い職場の環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日頃のコミュニケーションを大切にし、各自が目標をもちながら就業できるように、職場環境、条件の整備に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修、勉強会に交替で参加してもらい、それぞれ個々の自己研鑽につとめる必要性や重要性を話している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	月1回のペースで同業者との連絡会を開き、情報交換、勉強会などを行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活歴や、家庭環境など聞き、利用者の細かな言葉を重要に考えるよう努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	傾聴、受容の姿勢で対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホーム内での支援になる為、他のサービス（介護保険内での）は利用できない。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者が得意な事や興味のある事をスタッフが習い、教える喜びを味わってもらえるよう関わっている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常生活の様子を伝え、時には問題点や、本人についての相談をし、家族と一緒に支援策を考えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前住んでいた近所の方に会いに行ったり、行きつけの和菓子店で買い物をしている。又、いつでも気軽に足を運んでもらえるような、雰囲気作りに心掛けている。	職員は利用者の友人が気軽に遊びに来れるよう雰囲気づくりに配慮するとともに、利用者の馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、利用者が住んでいた近所の方に会いに行ったり、行きつけの和菓子店で買い物ができるよう支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う同士、外出をしたり、互いの誕生日を祝い合ったり納涼祭など皆で楽しめる機会なども設けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今後も相談頂ければお力になれる事をお伝えし、丁寧に挨拶している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所前の生活歴、習慣などを聞き取り、その人らしい生活ができるよう常にコミュニケーションをとるよう努めている。	職員は家族等の協力を得ながら利用者の日々の暮らしの中で希望や意向の把握に努め、利用者の思いや意向にそってその人らしく暮らせるよう支援をしている。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	上記と同様に聞きとった情報をスタッフ全員で把握できるよう、情報の共有をしている。	/		/	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の様子を記録し、細かな気づきなどもスタッフ同士共有し、申し伝え把握に努めている。				
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	原本を管理者、及び計画作成者が作り、それに基づき、家族、本人、スタッフを交え、話し合いを行い、計画書を仕上げていく。	介護計画は利用者や家族等の意見や希望を聴き職員で話し合い作成するとともに、定期的に見直している。 心身の状態に変化が生じた場合は、現状に即した介護計画に見直している。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、介護記録に記入し、申し送りにて情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出、外泊等は希望時、対応しており、入院などがあつた場合も早期退院にむけての支援としてできるだけ面会に行くようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	図書館を利用したり、ボランティア（数団体）の協力を得て、日々の暮らしに張りがでるよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望を大切にし、主治医を決めている。往診依頼し、必要時は受診介助を行っている。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援している。協力医療機関の定期的な往診があり、職員は医師や看護師に健康管理や服薬について相談し、適切な医療が受けられるよう支援をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制をとっており、週1回の往診、加えて週2回看護師が訪問している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は本人に皆からの寄せ書き等を持って行くなどし、活気づけ、ために面会に行き、状態の把握と本人の回復を望む意志を伝えている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化した場合や終末期のあり方を話し合い、同意書や指針の説明をしている。ターミナルケアの方針やマニュアルも作っており、本人、ご家族の意向を取り入れ緊急時は医療関係者と連携を取り合い対応している。</p>	<p>契約時に重度化した場合や看取りに関する事業所の対応方針を利用者や家族等に説明するとともに、同意を得ている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>訓練は行っていないが急変時の手順などはマニュアル化してある。外部での救急救命講習会などでの応急手当のやり方などは各自参加してもらい、学んでもらっている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署との連携で昼、夜それぞれの設定で避難訓練を施設全体で行っている。</p>	<p>昼間や夜間を想定した独自の避難訓練や消防署立会いの避難訓練を実施している。 避難訓練に地域住民の協力を得るまでには至っていない。</p>	<p>運営推進会議などで防災訓練の開催日時を知らせたり、地域住民に参加を呼びかけ協力が得られる体制づくりに取り組むことを期待する。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	バリエーションの基本姿勢を取り入れスタッフ全員で徹底して行っている。	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねないように排泄や入浴時の声かけや対応に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常のコミュニケーションを大切にしており、細かな会話から意向が聞き出せ読み取れるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを第1に考え対応している。散歩、ドライブ、その他の希望はできる限り希望に応じて対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	数名の利用者が希望している美容室があり、通っている。又、洋服、化粧品を一緒に買いに行ったり、日常もおしゃれへの声かけを心かけている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に料理を習いながら作ったり、盛り付け、片づけなど分担し行っている。	利用者はできる範囲で食事の盛り付けや下膳、後片付けなどを職員と一緒にしている。 誕生会や行事時は、利用者が好きな寿司や刺身、宅配の釜めしなどを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算されたバランスの良い献立で調理しており、水分もチェック表を作り、水分摂取量を記入している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	長年の習慣で毎食後の口腔ケアは行わない方がいるが、できるだけ声かけしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	失禁の多い方はデータをとり、排泄パターンを知り、トイレ誘導している。又、パッド使用の多い方もトイレ誘導し、パッド使用を減らすよう努めている。	職員はパッドなどを活用しながらトイレで排泄ができるよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多めに摂取してもらったり歩行などの軽い運動もしてもらうよう勧めている。排泄チェック表を作り排便チェックしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴希望回数などを聞き、できるだけ希望にこたえられるように対応している。	利用者一人ひとりの希望にそって何時でも入浴ができる体制となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人にとっての長時間、椅子に座ったままの方には声をかけ横になっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の薬ファイルを作り、スタッフ全員が閲覧できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人に合った役割を見つけ、日々の生活に前向きになり、楽しみが増えるように支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物やドライブ、時には外食に出かけたり、お茶を飲みに行ったりしている。	職員は日常的な散歩のほか、利用者一人ひとりの希望にそって日用品や洋服の買物、ドライブ、外食、お茶飲みに出かけられるよう支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族が本人に小遣いを置いていく場合もあるが、希望があれば随時本人に小額を渡している。買い物も希望時は一緒に行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホーム内の電話は希望時には自由に使ってもらっている。手紙のやり取りも一緒にポストに投函しに行き、楽しみになるようにしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	庭で取った季節の花などを飾り、各場所に家庭と同じ物品を置き、生活感が出るよう雰囲気作りを工夫している。	職員はユニット間にある中庭にベンチを設置し、暖かな陽光のもと利用者同士が自由に寛いだり、一人で過ごせるよう工夫をしている。 玄関周りに観葉植物や木製の椅子、ベンチを設置し、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファが置いてあり、のんびりと過ごせる空間作りをしている。玄関にも椅子が置いてあり、中庭にはベンチがあり、草花を眺め、休息できるスペースがある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの家具や小物が置いてあり、居心地良く過ごせる環境になっている。	利用者は居室に使い慣れた箆笥や仏壇、鏡台、家族等の写真などを持ち込み、居心地よく暮せるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	要所への手すりや各場所名、居室の入口には本人の名前のプレートを貼って工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	<p>1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	<p>1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームいちさと筑波

作成日 平成 22 年 4 月 5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	意見や苦情を出し難い家族等に配慮し、無記名のアンケートを実施、結果を報告する。	各々の家族とのコミュニケーションを更に深める。	6月無記名アンケート取得し結果を事業所内で話し合い夫々の対策などを検討し報告する。	平成22年 12月
2	35	避難訓練に地域住民の協力を得るまでに至っていない。	防災訓練に地域住民の参加協力を得られる体制作り。	年2回(4月・10月)に防災避難訓練を計画、消防署等の協力を得て地域住民にも参加への理解を求める。	平成22年 10月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。